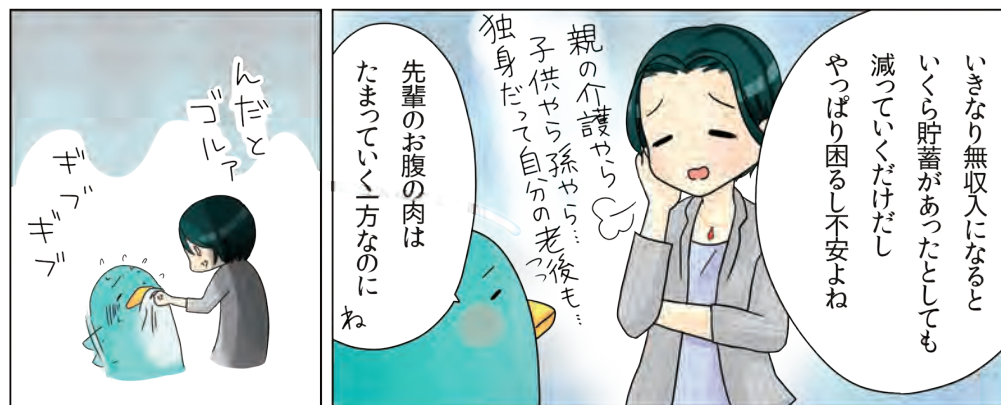
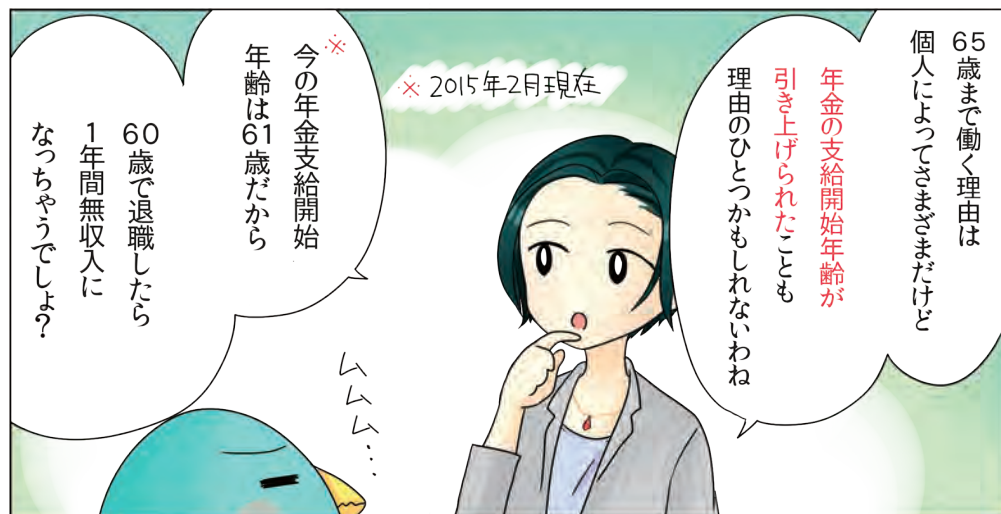
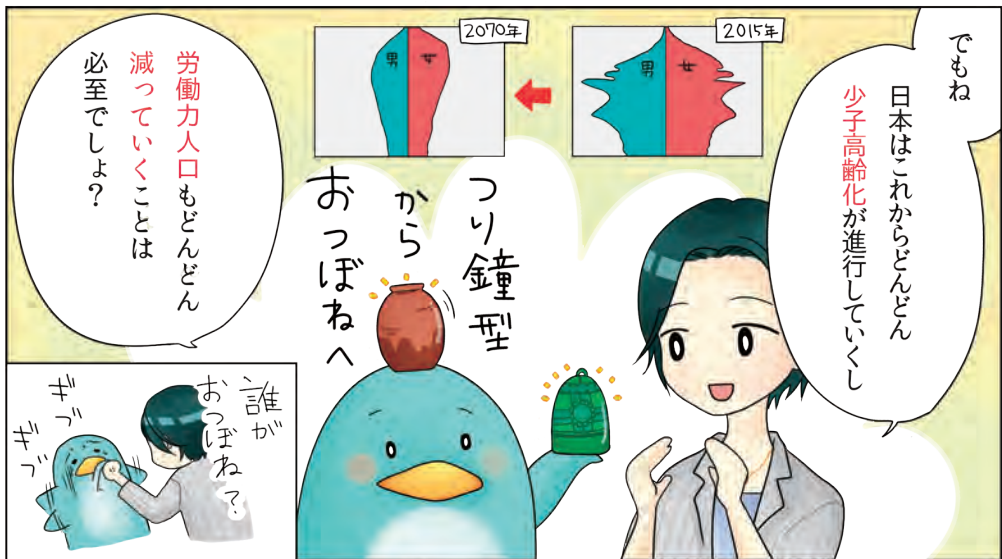




※老齢厚生年金の支給開始年齢につきましては P.81 をご参照ください。



定年後も働くって？



うーむ。
どうして定年後も働き続けねばならんのだろう…？



働く理由は人によって様々ですよ。お金のためだったり、生き甲斐のためだったり…。いずれにせよ、「①働くことを希望する人が多い」ということ、「②企業も高齢者の能力を活用したいと考えている」ということを理解することは重要そうですね。



需要もあるし供給もあると…。



そうですね。また、日本は高齢化が進んでいますし、高齢者には社会保障を受けるだけでなく、**社会を支える役割も担ってほしい**という要望もあるでしょう。年金制度が変わり、年金をもらえる年齢が引き上げられたのはご存じですか？



はあ、一応…。



60歳定年の会社を60歳で退職しても、現在の年金支給開始年齢（※老齢基礎年金）は60歳より上なので、年金を受給されるまで無収入になります。ですので、年金が出るまでの間は継続雇用で生計を立てることが必要な人が多いですよ。



そもその定年を65歳に引き上げないのですか？



もちろん、**定年自体を引き上げたり、定年制を廃止したりしている会社もありますよ。**



うーん、**高齢者を雇うのって会社にとって負担じゃありませんか？**



どうして会社にとって負担となると思うのでしょうか？



えっ!?…**若年者の雇用機会が減るとか…業績が下がる**とか…？



なるほど。では、それは第二話で考えましょう！



ええっ!?次回へ持ち越し!?